

地震・津波の想定内容

宮崎県は、宮崎県沿岸に想定される津波として、内閣府「南海トラフ巨大地震モデル検討会」による南海トラフ巨大地震・津波に、宮崎県独自モデルである日向灘地震・津波（いずれも地震の想定はマグニチュード9.1）の想定結果を加えて、最大クラスの津波を想定しています。

○用語の解説

【浸水域】……海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

【浸水深】……お住まいの地域の地盤の高さから津波が到達した時に浸水する深さ（※下記ハザードマップの見方を参照）

○最大クラスの地震・津波の想定モデルにおける構造物の被災条件（※最悪の条件を想定しております）

【護岸】耐震や液状化対策がない場合、構造物無し

【堤防】耐震や液状化対策がない場合、堤防の高さは1/4に沈降

【防波堤】耐震や液状化対策がない場合、構造物無し

【水門等】耐震性を有し自動化された施設や、常時閉鎖の施設以外は開放状態

【潮位】宮崎沿岸の朔望平均満潮位（東京湾平均海面（T.P.）+1.15m）

○延岡市域の想定

【地震の規模】マグニチュード9.1

【最大震度】震度7（ほとんどの沿岸地域で震度6強）

【最大津波高】14m（平均津波高11m）※1

【津波到達時間（最短値）】17分（津波高1m）※2
25分（津波高10m）

※1）津波高は海岸線から沖合約30m地点において、東京湾平均海面（T.P.）からの高さです。

このため、内陸の各地域の津波高は、下記の『津波浸水深』で表示されますのでご注意ください。

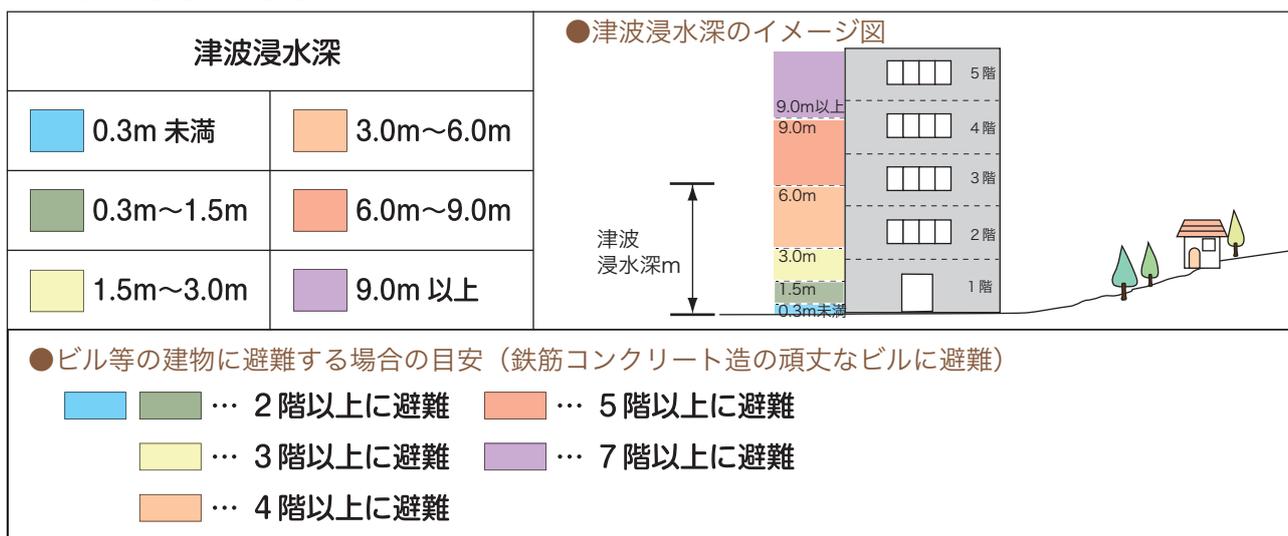
※2）津波到達時間は海岸線から沖合約30m地点において、地震発生直後から水位の変化+1mになるまでの時間を表示。

なお、延岡市域の全ての沿岸地域に最短時間で津波が到達するものではありません。

○ハザードマップの見方（津波浸水深の色分けと避難の目安）

『津波浸水深』とは、皆さんがお住まいの地域の地盤の高さから、津波が到達した時に浸水する深さのことです。ハザードマップでは、この津波浸水深を6段階で表しています。

※下記の図は、津波浸水深と避難する高さの目安を表していますので、実際に避難する際は、より高い場所を目指して避難してください。



○指定緊急避難場所

マップには、最寄りの指定緊急避難場所   が表示されています。

※避難が必要な緊急時に近くに指定緊急避難場所が無い場合は、上記目安を参考に近くの高台やビルに避難して下さい。

